



豊前のおしごと 親子de体験隊

取材先 ▶株式会社BRAING(ブレイイング)

豊前市在住の親子記者が、市内の様々な企業や団体等を取材した記事を掲載する同コーナー。5回目は、井上 貴絵さん・結博くん親子です。



“革新的思考”で改革する ものづくりのエキスパート！

今回は、豊前市のエンジニアリングコンサルタント会社「BRAING」を取材してきました。おしゃれな事務所で実際にその技術を使った家具の組み立てを体験。昔ながらの技術を異素材でも使えるように発展させた“パイプフレームほぞ継ぎ工法”について知ることができました。軽いうえにつくりもシンプルなのであつという間に3点も組み立てられましたよ。



この家具は、“ほぞ”という木造建築の手法を応用し、溶接しなくていいのが◎。気軽に組み立てられます。先日この工法が「グッドデザイン賞」を受賞されたとのこと。



6歳でも組み立てられたよ♪

案内人：松本 伸介さん（代表取締役社長）
岡田 優人さん（エンジニア）



株式会社BRAING



同社のパイプフレームほぞ継ぎ工法「X-tenon クロスステノン」がデザインアワード「グッドデザイン賞」受賞。

日本の伝統技術を 現代版に

これまで溶接でしかできなかった構造体をボルト1本で強固に組付けできる、世界初の特許工法。用途を変えて再生利用できるのがすばらしいです。色々応用できるので、この工法で住宅が簡単に建てられる日が来るかも。豊前発で！



▲“ほぞ”の技術を利用して、用途で色々形を変えられる！

サイズも使い方も自由自在

アルミなので軽く、組み立て直しやすいのも魅力。何度も再生して利用できるのが嬉しいです。ばらせるので配送もコンパクトになるし、溶接しないため、CO2を大幅に減らせるので地球にもやさしいですね。



SDGs 見つけた！

「ほぞ」という昔からの工法を木材以外の材料に取り込むアイデアのすばらしさ、溶接は不要でだれにでも組み立ては簡単、廃棄しても再生可能、そして運搬にかかるCO2も削減できる、とSDGsが求める要素が詰まったものづくりの思いが伝わってきました。

人にも環境にもやさしいものづくりがグローバルに展開していくのが楽しみです。

取材協力 (株) ニコン日総プライム NNPシリーズSDGs連載担当
水谷洋司・角田雅信・岩崎裕子・宮川清希・二塚正明

取材先の SDGsポイント！



ポイント① SDGs目標8 働きがいも経済成長も
★「革新的思考」による新しいビジネスの創出



ポイント② SDGs目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
★伝統を再認識しイノベーションへつなげる



ポイント③ SDGs目標13 気候変動に具体的な対策を
★CO2の削減で気候変動へ対応

Check Point

取材協力 株式会社BRAING(ブレイイング)
(☎ 0979-31-6033)

<https://www.braing-e.co.jp/>

撮影 Kazuki (Instagram @kaz_revelop)

※撮影中の様子は「おしごとパレット」のInstagramにて公開中
(ID : @oshigotopalette)



■取材を希望される企業・団体および取材について記事を書いてみたい親子記者を募集中。